



2021年10月29日

各位

会社名 nms ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小野 文明
 (コード：2162 東証 JASDAQ)
 問合せ先 常務取締役コーポレート本部長 河野寿子
 (TEL：03-5333-1711 (代表))

2022年3月期第2四半期（累計）連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年5月14日公表の2022年3月期第2四半期累計期間（2021年4月1日～2021年9月30日）業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2021年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	32,000	170	330	10	0.60
今回修正予想 (B)	30,400	△235	50	△280	△16.75
増減額 (B-A)	△1,600	△405	△280	△290	
増減率 (%)	△5.0	—	△84.8	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期累計)	26,049	139	△68	△499	△29.98

2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間は、第1四半期は堅調に推移したものの、当社グループ進出国・地域において、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）の再拡大による、想定を上回る規模でのロックダウンが断続的に続き、すべての事業において売上・利益への影響を受けました。

加えて、第2四半期以降、EMS事業およびPS事業における、部材不足に起因する影響が顕著となり、国内外のお客様の減産や稼働停止、生産計画後ろ倒し等による大幅な生産減および需給ひっ迫を背景とした原材料・副資材の価格高騰や物流コストの上昇等、事業環境変化による利益減少を余儀なくされる見込みです。これに対し、グループ全体で徹底した固定費削減を実行し利益の確保に努めたものの、感染症および部材不足による影響が大きく、前回発表予想を修正いたします。

なお、通期業績見通しにつきましては精査中であり、事業環境変化による影響など、先行きが見通せる状況になった段階で速やかに開示いたします。

3. 事業の動向

先行き不透明な事業環境は続いているものの、各事業とも需要は旺盛な状況が続いています。部材不足によるお客様の一時的な生産減や計画後ろ倒し等があるものの、受注の勢いは衰えておらず、受注残が積み上がっている状況であり、各事業とも部材不足解消時および次年度につながる取り組みを進めています。

EMS事業においては、ベトナム拠点で21年6月より新規品生産立ち上げを開始しました。車載用ワイヤレス充電器関連やAV・音響機器関連など、プレス技術を核とし、完成品まで生産できる特長を活かし、ベトナムへの生産移管を進める日系企業のニーズに対応を進めています。

また、同事業のメキシコ拠点は生産計画が後ろ倒しになっていたお客様からの受注が再開され、22年度からの生産立ち上げに向けた準備を開始しています。主軸の車載関連部品に加え、家電や工具、産業機器など、幅広い分野における基板実装ビジネスを北中米で展開していく計画です。

以上

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいているものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。